

# 新型コロナウイルス関連肺炎について

令和元年12月以降、新型コロナウイルス関連肺炎の発生が継続的に確認されています。

新型コロナウイルスについての最新情報は、随時、厚生労働省ホームページに掲載されていますので、そちらをご確認ください。

また国や北海道において、相談窓口が開設されましたので、心配な方は下の窓口まで、ご相談ください。



## 新型コロナウイルスに感染しないための対策について

風邪予防と同様に、

1. こまめな手洗い
2. 咳エチケット
3. マスクの着用

を心がけましょう！

### 咳エチケットの例



咳やくしゃみをするときは、ハンカチや袖、マスクをして、周りへ配慮しましょう



## 相談窓口について

豊頃町にお住まいの方は帯広保健所へご相談ください。

帯広保健所の窓口開設時間以外の夜間や土日祝日に相談したい場合は、北海道もしくは厚生労働省へご相談ください。

相談窓口	電話番号	開設時間	住所
帯広保健所	0155-26-9084	平日 8:45 ~ 17:30	帯広市東3条南3丁目1 十勝合同庁舎内
北海道保健福祉部 健康安全局地域保健課	011-204-5020	平日 17:30 ~ 21:00 土日祝 9:00 ~ 21:00	厚生労働省 HP に 詳細を掲載しています 
厚生労働省電話相談窓口 (フリーダイヤル)	0120-565653	9:00 ~ 21:00 (全日)	

詳しくは・・・【お問合せ先】保健センター ☎ (574) 3141

令和元年度 全国体力・運動能力等調査

# 豊頃町の児童生徒の体力や運動習慣は？

豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所

町内の小学5年生、中学2年生を対象に実施した令和元年度全国体力等調査の分析結果が北海道教育委員会より公表されました。各学校においては、この分析結果を生かした体育科授業の工夫改善、体力づくり活動の計画的実施など、既に取り組を進めているところです。

これに関わり、本町の体育・スポーツ振興の観点から、家庭、学校、地域が連携・協力し、心身ともに健康な子どもたちの育成に努めてまいります。

○調査実施期間 令和元年4月～7月

○調査の対象学年および実技内容

・小学校第5学年／握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げ  
・中学校第2学年／握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・シャトルラン・持久走・50m走・立ち幅とび・ハンドボール投げ

○運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

## ● 豊頃町の子どもたちの体力等の傾向

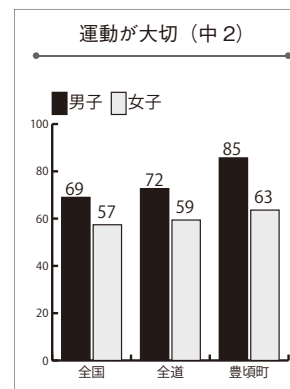
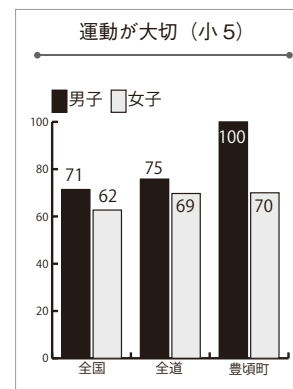
【小学生】体力合計点は、男子・女子とも全国平均を上回りました。

【実 技】

□全8種目中、男子は、握力・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げの6種目、女子は全ての種目が全国を上回りました。  
□豊頃町の小学生の運動能力は高いです。

【質問紙】

□「あなたにとって運動やスポーツは大切なものですか」という質問に対し、「運動が大切」と回答した児童が多く、運動に対する意識は高いです。



□中学校進学後、授業以外に自主的に運動したいと回答した児童が90%を超えています。

□生活習慣では、男女共に「朝食」を食べる習慣が身についています。しかしながら、男女共に「平日のテレビ、スマホ、ゲームなどの時間」の回答で、5時間を超える児童がいます。

【中学生】体力合計点は、男子は全国をやや下回り、女子は全国を下回りました。

【実 技】

□全8種目中、男子は握力・持久走・ハンドボール投げの3種目で全国を上回りました。女子は上体起こし・持久走・ハンドボール投げ・反復横とびの4種目が全国を上回りました。  
□全国を下回った種目で、男子では長座体前屈、女子では立ち幅とびの数値の差が最も大きくなりました。

【質問紙】

□男女共に「運動が大切」という項目が全国を上回り、特に「運動が好き」という項目では男子78.6%、女子36.4%の回答であり、男女に大きな差が見られました。  
□高校進学後、授業以外に自主的に運動したいと回答した男子生徒は78.6%、女子生徒は36.4%でした。  
□生活習慣では、男女ともに「朝食」を毎日食べる習慣が身についています。しかしながら、「平日のテレビ、スマホ、ゲームなどの時間」の回答で、5時間を超える生徒がいます。

## ● 調査結果から考えられること

【全体の傾向と課題】

- 「運動の大切さ」を理解しているので、段階的に運動スキルを向上させるためにも、運動を楽しむ意識を育てることが大切です。
- 小・中学校共に、1日3食の食習慣に対する意識や6～8時間の睡眠をとる意識が中学校では高い傾向がありますが、小学校では課題も見られます。
- 「長座体前屈」が、小男・中男女において全国を下回っていることから柔軟性の向上が課題です。
- 一日の生活の中でテレビ視聴等の時間の割合は、小・中学生共に長く、時間を決めることが大切です。

【今後の取組の方向性】

- ◎学校では、今ある優れた能力を一層高めつつバランスの良い体の動きを目指し、総合的な体力等の向上に資する授業研究や部活動等諸活動の充実に努めます。
- ◎家庭では、基本的生活習慣の基盤をなす1日3食の「食習慣」を大切にするとともに、家庭生活の中にストレッチやスポーツタイムを設けて家族全体で健康づくりに取り組むなど、日々の生活の中に運動を取り入れていきましょう。
- ◎地域では、PTA、子ども会、スポーツ少年団活動や町内会行事等において、子どもも大人も楽しめるゲームや軽運動を取り入れるなどの工夫をし、スポーツに親しむ環境づくりにご協力をお願いいたします。

問合せ先

教育課学校教育係 ☎ (579) 5801